



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月14日

上場会社名 日本伸銅株式会社
 コード番号 5753 URL <http://www.nippon-shindo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 木本 道隆
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-229-0346

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,743	25.5	957	70.0	636	67.5	470	73.9
29年3月期第3四半期	10,953	4.7	563		380	89.0	270	50.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	199.22	
29年3月期第3四半期	114.51	

当社は、平成28年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
 前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	12,268	6,067	49.5	2,570.79
29年3月期	11,130	5,582	50.2	2,364.75

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 6,067百万円 29年3月期 5,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	15.8	1,260	36.3	1,030	34.9	790	45.6	334.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注) 詳細は、添付資料P. 5「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	2,370,000 株	29年3月期	2,370,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	9,671 株	29年3月期	9,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	2,360,442 株	29年3月期3Q	2,360,769 株

当社は、平成28年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、米国や中国の需要が堅調で、安定成長を続けました。また、わが国経済は、財政出動と低金利政策による安定した円安相場の下、電機産業などが牽引する形で、景気の回復が続きました。当社の主要原材料で国際相場商品である銅の国内価格は、昨年秋に上昇したまま高値で推移しました。また、労働力需給が逼迫し、物流コストは上昇しました。

このような経営環境のもと、当社は、人材確保のため、賞与の増額など社員待遇の改善に努めました。また、工場等で使用する電力について、比較購買を開始しました。

この結果、当社の当第3四半期累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

販売数量は18,526トン（前年同四半期比9.1%減少）となりましたが、銅相場が前年同四半期と比較して高い水準だったため、売上高につきましては137億43百万円（同25.5%増加）となりました。収益面につきましては、営業利益は9億57百万円（同70.0%増加）、経常利益は原料相場のリスクヘッジのためのデリバティブ損失2億12百万円を計上したことなどにより、6億36百万円（同67.5%増加）となり、四半期純利益は4億70百万円（同73.9%増加）となりました。

当社は伸銅品関連事業の単一セグメントとしております。伸銅品関連事業の部門別の業績を示すと、次のとおりであります。

(伸銅品)

当社の主力製品である伸銅品は、販売数量17,935トン（前年同四半期比9.7%減少）、売上高は118億7百万円（同16.3%増加）となりました。

(伸銅加工品)

伸銅加工品においては、売上高は5億51百万円（前年同四半期比64.1%増加）となりました。

(その他の金属材料)

その他の金属材料は、伸銅品原材料の転売が主で、売上高は13億84百万円（前年同四半期比199.8%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は90億73百万円となり、前事業年度末に比べ14億58百万円増加しました。これは主に商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品が7億53百万円、電子記録債権が6億3百万円増加したことによるものであります。固定資産は投資その他の資産が2億57百万円減少したこと等により31億94百万円となり、前事業年度末に比べ3億21百万円減少しました。

この結果、資産合計は122億68百万円となり、前事業年度末に比べ11億37百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は56億52百万円となり、前事業年度末に比べ6億54百万円増加しました。これは主に短期借入金が7億30百万円増加したことによるものであります。固定負債は5億47百万円となり、前事業年度末に比べ2百万円減少しました。

この結果、負債合計は62億円となり、前事業年度末に比べ6億51百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は60億67百万円となり、前事業年度末に比べ4億85百万円増加しました。これは主に四半期純利益4億70百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は49.5%（前事業年度末は50.2%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年10月13日に公表いたしました平成30年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成30年2月14日）発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	170	303
受取手形及び売掛金	3,757	3,782
電子記録債権	1,503	2,106
商品及び製品	601	678
仕掛品	939	1,276
原材料及び貯蔵品	529	869
その他	112	56
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,614	9,073
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,078	2,078
その他	616	549
有形固定資産合計	2,694	2,628
無形固定資産		
投資その他の資産	9	11
その他	812	555
投資その他の資産合計	812	555
固定資産合計	3,516	3,194
資産合計	11,130	12,268
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,204	1,196
短期借入金	3,300	4,030
未払法人税等	216	105
賞与引当金	83	32
その他	194	288
流動負債合計	4,998	5,652
固定負債		
退職給付引当金	45	44
その他	504	502
固定負債合計	550	547
負債合計	5,548	6,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,595	1,595
資本剰余金	290	290
利益剰余金	3,617	4,075
自己株式	△16	△17
株主資本合計	5,486	5,944
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	95	123
評価・換算差額等合計	95	123
純資産合計	5,582	6,067
負債純資産合計	11,130	12,268

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	10,953	13,743
売上原価	9,879	12,268
売上総利益	1,074	1,474
販売費及び一般管理費	511	517
営業利益	563	957
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	12
その他	1	3
営業外収益合計	23	15
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	4	4
デリバティブ損失	111	212
デリバティブ評価損	87	117
その他	1	0
営業外費用合計	206	336
経常利益	380	636
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	54
特別利益合計	1	54
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券売却損	—	10
特別損失合計	—	10
税引前四半期純利益	381	681
法人税等	111	210
四半期純利益	270	470

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。